

令和5年度 釜利谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

地域の現状と今後の方向性

支え合い連絡会で、地域の方より「コロナで活動が止まっている間に、止まっていることが普通になってしまい、活動の再開に対して腰が重い」という情報がありました。5職種で地域の状況を常に共有しながら必要な支援が出来るようにしていきます。
またケアプラザ内でも中止していた事業について、今の状態でも必要であれば開催できる方法を模索し、地域住民にあって良かったと言ってもらえる事業展開をしていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「これからも住み慣れた釜利谷で安心して過ごしていくために一緒に考える会”かまもりやーの”」の継続 地域住民・事業者や小学校等に参加を呼びかけ、“住みやすい釜利谷”について継続して考えていく。 また、かまもりホルダーの周知を継続する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症の正しい理解、予防、介護者への支援の充実 講演会や認知症サポーター養成講座を継続して開催し、あらゆる世代に認知症についての正しい知識と理解を普及啓発していく。また、釜利谷地域ケアプラザ包括エリア内の認知症キャラバン・メイト連絡会等を通じて支援者を増やしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	住みなれた地域に住み続けるため、地域住民による活動の情報リスト「釜利谷みんなの情報リスト」と、お買い物後の配達情報も掲載している「釜利谷みんなのお買いもの情報」の情報更新を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エンディングノートの普及活動の工夫 広報紙への掲載、地域のサロンに出向いての周知に加えて、地域ケアプラザで説明会を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	支援者側が感じる課題やニーズにとらわれない視点での新たな教室や講座、情報提供を行い、より多くの方に福祉・保健サービスが提供できるようにしていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント